

# 高校生 I C T 2018 Conference

in 大分

社会で活躍するための I C T 活用法 ～ 18才成人化を控えて ～

## 開催報告書

2018年8月26日(日) 10:00-16:00

【会場】九州電力株式会社大分支社 2階大ホール

主催

大分県

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

高校生 I C T カンファレンス実行委員会

(構成団体) 安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁

後援

大分合同新聞社、西日本新聞社、NHK 大分放送局、

OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、J:COM 大分ケーブルテレコム



2018

## 目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2018 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2018 in 大分 開催概要.....	6
4. 主担当.....	11
5. 高校生 ICT Conference 2018 サミット.....	11
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	11
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	12

## 1. 開催概要

名 称：	<p>高校生 ICT Conference 2018</p> <p>テーマ：社会で活躍するためのICT活用法 ～ 18才成人化を控えて ～</p>
主催：	<p>高校生ICTカンファレンス実行委員会 (構成団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心ネットづくり促進協議会</li> <li>● 大阪私学教育情報化研究会</li> <li>● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会</li> <li>● 大分県</li> <li>● 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所</li> </ul>
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁、 大分県教育委員会、大分県高等学校PTA連合会</p>
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校PTA連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、大分合同新聞社、西日本新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム</p>
協賛：	<p>グーグル合同会社、株式会社ディー・エヌ・エー、一般社団法人情報教育研究所、株式会社ラック、グリーン株式会社、株式会社サイバーエージェント、LINE株式会社、株式会社インテグラル、エースチャイルド株式会社、Twitter Japan株式会社、株式会社ベルパーク、株式会社メディア開発綜研、アルプスシステムインテグレーション株式会社</p>
協力：	<p>株式会社内田洋行、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社、</p>
開催目的：	<p>高校生ICT Conferenceは、2011年度に「ICTプロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&amp;活用法～」として大阪でスタートしました。2012年度は、東京開催を加え計17校79人の高校生が参加し、2013年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて5拠点にて開催し、計51校267人の高校生が参加しました。2014度も同5拠点にて開催し、計44校221人の高校生が参加しました。</p> <p>2015年度は、石川、長野、神奈川、福岡を加えた9拠点にて開催し、計78校310人の高校生が参加しました。2017年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに北海道帯広、仙台、静岡、新潟、高知を加えた14拠点にて開催し、計107校476人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生ICT Conferenceの開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社</p>

会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。

**【本年開催テーマのコンセプト】**

2016年の参議院選挙から18才選挙権がスタートするとともに、成人年齢についても20才から18才への引き下げが暫時検討されてきました。2018年1月第196回国会で、成人年齢を18才とする民法改正案が提出され、これまで20才での成人という常識が、変わろうとしています。未成年者は親権者あるいは未成年後見人の親権に服することとなっており、成人になるということは、親権者の同意なく自身の判断で「契約」行為などを行うことができるようになります。

インターネットが私たちの生活に普及し、スマートフォンなど携帯型端末を持ち歩き、いつでもどこでもインターネットのサービスを利用できるようになりました。一方でクレジットカードやプリペイドカードの普及、仮想通貨の登場など、現金以外での取り引き方法がインターネット上では多く利用されるようになり、手元で簡単に契約行為を行うことが可能になりました。

18才成人化に伴い、いわゆる「大人」とみなされる年齢が引き下げされることに伴い、18才になれば大人としての権利を行使できるとともに、大人としての責任も生じることとなります。ビジネスの世界では、あらゆる産業でICTを活用し、業務の効率化や多様な事業を展開し始めています。今年度の「高校生ICT Conference」では、インターネットのある環境で生まれた高校生が、こうした**高度にIT化された社会で活躍するため**に、どのようなことに注意を払い、どのような能力が必要で、どのようにそれらを身に付けていけばいいかを18才になる高校生のうちに考えておく機会を設けることを目的としました。

※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取り組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。

開催の概要：

**【各開催地での内容】** ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。

- (1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表
- (6) 講評 (7) サミット参加者発表

**【東京サミット】**

	(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表  【最終報告会】 (1) 各府省庁への提言発表 (プレゼン) (2) 質疑応答・意見交換
各開催地 募集人員等：	募集参加生徒 30名 (各開催地により変動あり) 募集見学者各回 30名 (各開催地により変動あり)
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2018 実行委員会：	【委員長】 ・ 米田謙三 (大阪私学教育情報化研究会 副会長)  【コアメンバー】 ・ 石田幸枝 (公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者 団体訴訟室長) ・ 猪股 富美子 (お茶の水女子大学 人間発達科学研究所) ・ 植田 威 (特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事) ・ 小城 英子 (聖心女子大学 ) ・ 他、関係者団体、事業者等  【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180

## 2. 高校生 ICT Conference 2018 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
札幌	2018 年 9 月 16 日	札幌ユビキタス協創広場 U-cala(内田洋行)
帯広	2018 年 9 月 17 日	とかちプラザ
宮城	2018 年 10 月 7 日	東北工業大学一番町ロビー
山形	2018 年 9 月 29 日	山形県庁
茨城	2018 年 8 月 22 日	茨城県立青少年会館
神奈川	2018 年 10 月 6 日	学校法人岩崎学園
新潟	2018 年 8 月 20 日	NCC 新潟コンピュータ専門学校
石川	2018 年 9 月 15 日	金沢大学角間キャンパス
長野	2018 年 9 月 29 日	安曇野市明科公民館
静岡	2018 年 9 月 24 日	専門学校静岡電子情報カレッジ
愛知	2018 年 10 月 21 日	名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)
大阪	2018 年 9 月 9 日	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
奈良	2018 年 9 月 30 日	帝塚山大学奈良学園前キャンパス

山口	2018年8月10日	サビエル高等学校
高知	2018年8月14日	高知県立伊野商業高等学校
福岡	2018年9月23日	エルガーラホール
大分	2018年8月26日	九州電力株式会社大分支社 2階大ホール
鹿児島	2018年8月18日	鹿児島大学学習交流プラザ
サミット	2018年11月3日	東京ユキビタス協創広場 CANVAS(内田洋行)
最終報告会	2018年12月中旬	

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。(サミット熟議のみ参加) ※2017年度実績：福井

<p>概要</p>	<p>高校生、教員、企業関係者など 166 名の参加者を得て、<b>社会で活躍するための ICT 活用法 ～ 18 才成人化を控えて ～</b>をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p><b>【リアル熟議】</b>  <b>司会進行・主旨説明</b>          公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 主任研究員 原田美織 様          高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。</p> <p><b>開会の挨拶</b>  <b>主催者挨拶</b>          公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 副所長 渡辺律子 様          今回のテーマ「社会で活躍するための ICT 活用法～18 才成人化を控えて～」について説明、本日の審査方法や賞についての説明、本カンファレンスに参加していただくことの意義や心構えについての説明をしていただきました。</p> <p><b>来賓挨拶</b>          九州総合通信局 情報通信部電気通信事業課長 荒金 真史 様          ICT の利活用を進める総務省の立場から、青少年のネットやスマホの利用の実態等についてご説明いただきました。また、本カンファレンスにおいて高校生に期待することなどをお話いただきました。</p> <p><b>事業者による講演</b>          株式会社メルカリ CS グループ 柳原 久美 様          フリマアプリを通して、インターネットを安心安全に使うために必要なこと、消費者として求められる責任、未成年と大人の違いによって発生する責任の違い、トラブル解決のために現在取り組んでいることや、私たちができることについてお話いただきました。また、大分ご出身ということで、国内外で活躍される柳原さまの視点で、社会で活躍するということについてもお話いただきました。</p> <p><b>アイスブレイク、 自己紹介</b>          11 つのグループに分かれ、アイスブレイクの後、各グループ内で自己紹介などを実施しました。</p> <p><b>午前：グループワーク 1</b>  <b>「私たちが未来の社会で活躍し、よりよい生活をしていくために」</b>          大分県内の大学生、専門学校生がファシリテーターとなり、熟議を開始しました。高校生は事前の宿題で考えてきた自分の意見を持ち、メモや付箋、模造紙等を活用</p>
-----------	--

	<p>しながら、まずは「社会で活躍すること」、「よりよい生活をしていくこと」について、熟議をスタートしました。</p> <p><b>午後：グループワーク 2</b>  <b>「社会で活躍するための ICT 活用法～18 才成人化を控えて～」</b></p> <p>午前中のグループワーク 1 の熟議内容をベースに、18 才成人化についての意識をもって、メインテーマについての熟議を行いました。1 グループ 6～7 名ということで、複数の意見やアイデアを模造紙等に整理分類しながら、まとめるための熟議を行いました。</p> <p><b>グループ発表</b></p> <p>各グループともプレゼンテーションソフトを活用して 3 分程度の発表を行いました。（詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください）</p> <p><b>講評</b></p> <p><b>大分県生活環境部 私学振興・青少年課 課長 安藤 公典 様</b></p> <p>1 日のカンファレンスを通しての講評をいただきました。高校生の議論、発表等から、ネットやスマホ、ICT の利活用についてのメリット・デメリットを高校生がきちんと両面から考えていること、また迫りくる 18 才成人化について、自らにどのような影響があるのかを考え、そのために必要となる責任や自覚についての準備や気構えについても意識を持つことができている高校生も多数いるということを指摘されていました。本カンファレンスでの経験を今後の人生に生かし、良い糧にしてもらいたいということで講評をいただきました。</p> <p><b>表彰</b></p> <p>審査委員の審査により、11 月 3 日に東京で開催されるサミットに行く代表生徒を選出し、発表しました。東九州龍谷高等学校の生徒が代表生徒に選ばれました。後援組織からの表彰にて大分合同新聞社賞を 1 名に授与しました。特別審査員の選定により大分高等学校の生徒が選ばれました。参加生徒による人気投票でグループ賞を選出し、グループ名「グループ X」が選ばれました。それぞれ表彰を行い、表彰状と副賞が授与されました。</p>
<p>参加校：</p>	<p>大分県立大分工業高等学校  大分県立中津南高等学校  大分県立由布高等学校  大分県立杵築高等学校  別府溝部学園高等学校  大分県立別府鶴見丘高等学校  東九州龍谷高等学校  大分県立爽風館高等学校</p>



	<p>大分県立大分鶴崎高等学校  大分高等学校  大分県立竹田高等学校  大分東明高等学校  大分県立大分豊府高等学校  大分県立鶴崎工業高等学校  大分県立大分舞鶴高等学校  大分国際情報高等学校  大分県立中津東高等学校  大分県立大分雄城台高等学校  大分県立情報科学高等学校 (順不同)</p>
日 時 :	2018年8月26日(日) 10:00-16:00
場 所 :	九州電力株式会社大分支社 2階大ホール (大分市金池町2丁目3番4号)
参加人数 :	<p>熟議参加生徒 71人  見学者・関係者 95人 (教員・教育関係者・その他)  合計 : 166人</p>
熟議グループ :	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【グループ名：おにぎりパン】7名  大分県立情報科学高等学校2年女子、大分県立中津東高等学校2年女子、大分県立大分豊府高等学校1年女子、別府溝部学園高等学校1年男子、大分県立由布高等学校3年女子、大分高等学校2年男子、大分県立中津南高等学校2年男子  〔ファシリテーター〕  IVY 総合技術工学院 阿部勇人  〔ファシリテーター補助〕  公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 副所長 渡辺律子  〔書紀〕  IVY 総合技術工学院 高橋迅</p> <p>【グループ名：大分ネットレンジャー】7名  大分国際情報高等学校3年女子、大分舞鶴高等学校2年男子、別府溝部学園高等学校2年女子、大分高等学校2年男子、大分県立杵築高等学校1年女子、大分県立大分鶴崎工業高等学校2年男子、大分県立中津東高等学校1年女子  〔ファシリテーター〕  IVY 総合技術工学院 吉田隆  〔ファシリテーター補助〕  大分県教育庁 教育財務課 長谷川圭介  〔書紀〕  IVY 総合技術工学院 長野祐希</p> <p>【グループ名：フリマアプリメルカリ】5名</p>

大分国際情報高等学校 3年女子、東九州龍谷高等学校 2年男子、大分県立大分鶴崎高等学校 2年男子、大分県立中津東高等学校 2年女子、大分県立大分工業高等学校 2年男子

〔ファシリテーター〕

IVY 総合技術工学院 長野仁瑛

〔ファシリテーター補助〕

大分県教育庁 教育財務課 長谷川圭介

〔書紀〕

IVY 総合技術工学院 吉良千恵美

【グループ名：ファーストコンタクト】6名

大分県立大分鶴崎工業高等学校 2年男子、大分県立大分工業高等学校 2年男子、大分国際情報高等学校 3年女子、大分県立別府鶴見丘高等学校 3年男子、大分県立由布高等学校 3年女子、大分高等学校 1年女子

〔ファシリテーター〕

日本文理大学 姫野京花

〔ファシリテーター補助〕

大分県教育庁 教育財務課 田原祐江

〔書紀〕

IVY 総合技術工学院 南皓太

【グループ名：GReeeeeN】6名

大分高等学校 3年女子、別府溝部学園高等学校 2年男子、大分県立竹田高等学校 1年女子、大分県立大分工業高等学校 3年男子、大分県立中津南高等学校 2年男子、大分県立由布高等学校 1年女子

〔ファシリテーター〕

大分大学大学院 室田一成

〔ファシリテーター補助〕

大分県教育庁 教育財務課 土井敏裕

〔書紀〕

IVY 総合技術工学院 石田峻

【グループ名：ぐりーんていー】7名

大分県立情報科学高等学校 3年男子、別府溝部学園高等学校 1年男子、大分県立大分豊府高等学校 1年女子、大分県立由布高等学校 3年男子、大分県立中津南高等学校 2年女子、大分高等学校 2年男子、大分県立中津東高等学校 1年女子

〔ファシリテーター〕

大分大学大学院 手塚浩介

〔ファシリテーター補助〕

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員 / Grafsec 七條麻衣子

〔書紀〕

日本文理大学 園田廉太郎

【グループ名：パーサー】7名

大分高等学校 2年男子、大分県立杵築高等学校 1年女子、別府溝部学園高等学校 2年男子、大分県立竹田高等学校 3年女子、大分県立由布高等学校 2年女子、大分県立中津南高等学校 2年女子、大分県立情報科学高等学校 2年女子

〔ファシリテーター〕

日本文理大学 詫磨果歩

〔ファシリテーター補助〕

大分県教育庁 教育財務課 土井敏裕

〔書紀〕

IVY 総合技術工学院 西田翔偉斗

【グループ名：りんご鉄道】5名

大分県立舞鶴高等学校 2年女子、大分国際情報高等学校 1年男子、大分県立大分雄城台高等学校 1年男子、大分県立大分鶴崎工業高等学校 2年男子、大分東明高等学校 3年女子

〔ファシリテーター〕

IVY 総合技術工学院 三浦蓮

〔ファシリテーター補助〕

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員 / Grafsec 七條麻衣子

〔書紀〕

IVY 総合技術工学院 西村光太

【グループ名：グループX】7名

大分高等学校 1年女子、大分県立大分工業高等学校 3年男子、大分県立中津東高等学校 2年女子、大分県立大分雄城台高等学校 1年男子、大分国際情報高等学校 2年女子、東九州龍谷高等学校 2年男子、別府溝部学園高等学校 2年女子

〔ファシリテーター〕

IVY 総合技術工学院 廣瀬文尚

〔ファシリテーター補助〕

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員 伊藤大貴

〔書紀〕

IVY 総合技術工学院 阿南大介

【グループ名：しゃぶしゃぶたべたい】7名

別府溝部学園高等学校 3年女子、大分県立爽風館高等学校 3年男子、大分県立竹田高等学校 3年女子、東九州龍谷高等学校 2年男子、大分県立情報科学高等学校 3年男子、大分県立中津南高等学校 2年男子、大分高等学校 1年女子

	<p>〔ファシリテーター〕 IVY 総合技術工学院 安西輝晃</p> <p>〔ファシリテーター補助〕 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員 黒川智子</p> <p>〔書紀〕 IVY 総合技術工学院 中山紗希</p> <p>【グループ名：リラックマ】7名 別府溝部学園高等学校3年女子、大分高等学校2年男子、大分県立竹田高等学校3年女子、大分県立大分工業高等学校2年男子、大分由布高等学校1年女子、大分県立中津南高等学校2年男子、大分県立情報科学高等学校2年女子</p> <p>〔ファシリテーター〕 大分大学大学院 松尾朱夏</p> <p>〔ファシリテーター補助〕 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員 黒川智子</p> <p>〔書紀〕 IVY 総合技術工学院 小松雄斗</p>
--	--

### 3. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	事務局
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所	会場、什器備品手配 飲食手配、庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

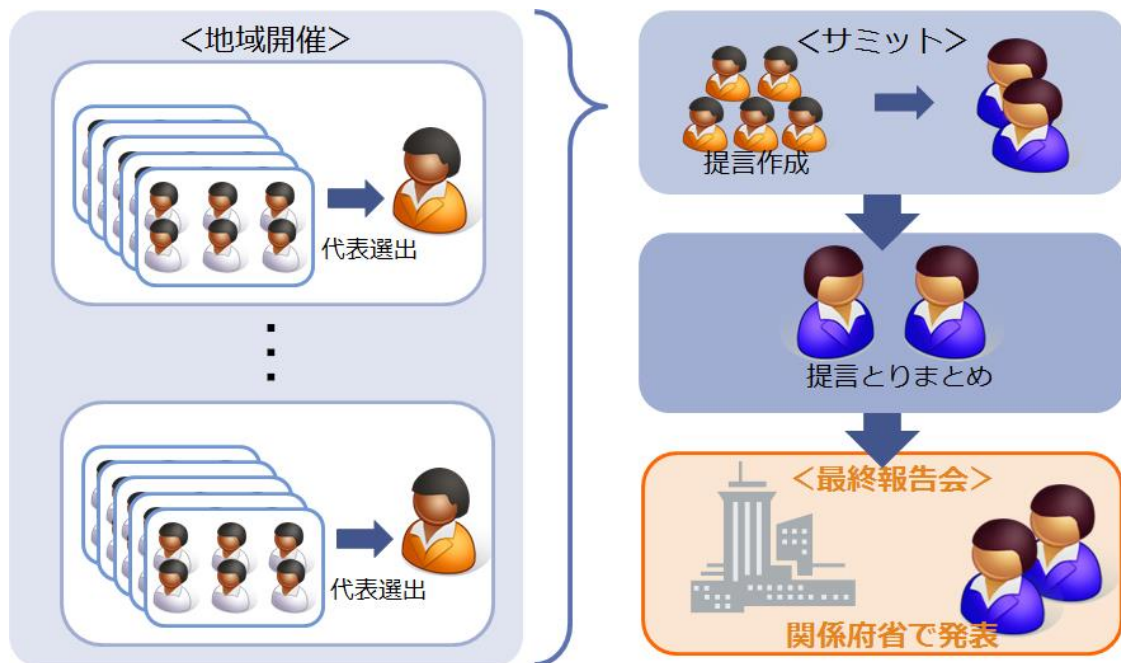
### 4. 高校生 ICT Conference 2018 サミット

高校生 ICT Conference 2018 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

### 5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2018 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



## 6. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2018 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2018 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上